

# 日本音楽学会東日本支部 第89回定例研究会

日時：2024年5月11日（土）14:00～17:00  
場所：昭和音楽大学 および オンライン（Zoom）  
参加方法：会員・非会員とも無料、要申込

## 卒業・修士論文発表

司会：中田 朱美（国立音楽大学）

### ◆卒業論文発表

1. 武満徹と〈日本的なもの〉——第二次世界大戦前後の日本音楽と西洋——  
那須 晴樹（東京大学）

### ◆修士論文発表

1. ピエール・ブーレーズの初期セリー作品における音楽論の反映  
——作品分析から紐解かれる音楽哲学と方法論——  
山本 真幸（東京藝術大学大学院）
2. ブルガリア民俗音楽における「伝統」の継承と発展  
——楽器と教育のトラキア化とソヴィエト化に着目して——  
玉置 彩乃（東京藝術大学大学院）
3. モーツァルトのピアノ協奏曲におけるピアノ・リダクションの考察  
菊間 倫也（東京藝術大学大学院）
4. ハンス・ロット《弦楽四重奏曲 ハ短調》（1876-1877）  
——史料と作曲技法が示唆する「4楽章」構想——  
山崎 圭資（青山学院大学大学院）

◎参加申込期限は 5月10日（金）17:00 です。

ウェブサイトのフォームよりお申込みください。

<http://www.musicology-japan.org/east/>



◎参加無料。会員・非会員、学生・研究者を問わず、どなたでもご参加頂けます。

遅刻・途中退場自由、申込後の欠席連絡も不要です。

◎定例研究会参加補助金制度：自宅から200km以上で開催される例会に参加する東日本支部所属の学生を対象に、交通費の補助制度（上限10000円として実費支給）を設けています。

詳細、および入会希望（学生年会費5000円）は支部事務局へお問い合わせ下さい。

◎次回研究会予定

日時：2024年6月8日（土）14:00～17:00 予定

場所：昭和音楽大学、およびオンライン予定